

## 千葉市図書館おすすめブックリスト

# 読んでみよう

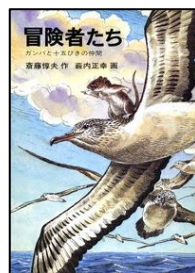
## <5・6年生>

あなたの心に豊かな読書体験が残るように、  
図書館員が心をこめて本を選びました。

### ぼうけんしゃ 冒険者たち ガンバと十五ひきの仲間

さいとう あつお やぶうち まさゆき  
齋藤 惇夫/作 藪内 正幸/画  
岩波書店 1982年

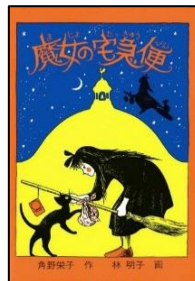
ドブネズミのガンバは島ネズミを苦しめるイタチのノロイー族と戦うため、15匹の仲間と夢見が島に向かう。仲間同士助け合い、知恵と勇気をふりしぼって、困難を一つ一つのりこえていく中で、ガンバは友情や愛の大切さを知っていく。全3巻



### まじよ 魔女の宅急便

かどの えいこ はやし あきこ  
角野 栄子/作 林 明子/画  
福音館書店 1985年

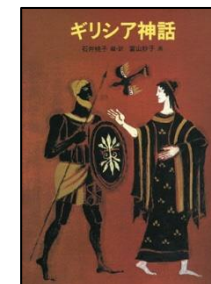
魔女の血をひくキキは、13才の女の子。13才になった魔女は、家をはなれ、たった一人で暮らし始めなければならない。キキにもとうとう、黒猫のジジと共に、飛び立つ日がやってきた。全6巻。



### ギリシア神話

いしい ももこ へん やく とみやま たえこ  
石井 桃子/編・訳 富山 妙子/画  
のら書店 2000年

古代ギリシア人は、たくさんの神々を信じ、物語として語り伝えてきた。この本には、ゼウスやアポロンの神々、パンドラの箱の話、有名な「トロイア戦争」と「オデュッセウスの冒険」についてなど、楽しく、わかりやすく書かれている。



### クローディアの秘密

まつなが まつなが ふみ子/訳  
E・L・カニグズバーグ/作 松永 ふみ子/訳  
岩波書店 2000年(初1975年)

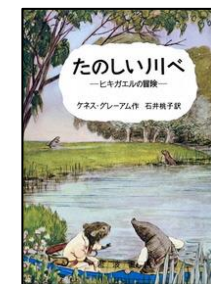
毎日が退屈で、長女は損ばかり。嫌気がさした11歳のクローディアは、弟を誘って家出をし、メトロポリタン美術館の中にかくれ住んだ。今と違った新しい自分になりたいという願いを胸に、あるなぞ解きに夢中になる。



### たのしい川べ —ヒキガエルの冒険—

ケネス・グレアム/作 いしい ももこ やく  
岩波書店 1963年

はずかしがりやのモグラ、働き者で詩人のネズミ、新しもの好きのヒキガエル、親切なアナグマなど川辺に住む動物と、森に住むイタチやテンなどが川や森でさまざまな冒険を展開するファンタジー物語。



### シャーロットのおくりもの

E・B・ホワイト/作 ガース・ウィリアムズ/絵  
さくま ゆみこ/訳 あすなろ書房 2001年

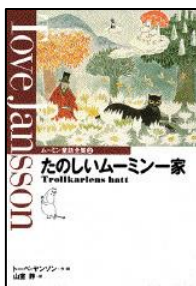
子ブタのウィルバーは、小さく生まれて殺されそうになったところを農場の娘のファーンに助けられたが、次は、ハムにされてしまうことに。今度は、友達のクモのシャーロットが奇跡を起こし救ってくれる。命と友情の物語。



## たのしいムーミン一家 ムーミン童話全集2

トーベ・ヤンソン / 作 <sup>やまむろ しずか やく</sup> 山室 静 / 訳  
講談社 1990年

冬眠から目覚めたムーミントロールたちは、山で不思議な帽子を拾った。その帽子は、中に入ったものをおかしなものに変えてしまう。それからというもの、ムーミン谷では次々と事件が起こり始める。全8巻、別巻1。



## だれも知らない小さな国 コロボックル物語1

佐藤 さとる / 作 <sup>むらかみ つとむ</sup> 村上 勉 / 絵  
講談社 1985年

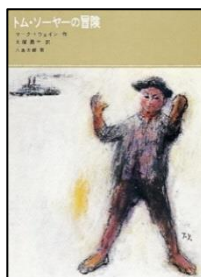
小学3年生のころ、森の小山の秘密の遊び場で見かけた、小指くらいの小さな人。時が過ぎ、またそこを訪れたことで、僕は彼らと再会する。もしかしたらコロボックルがそばにいないかもしれない、そんな気がするファンタジー。全5巻、別巻1。



## トム・ソーヤーの冒険

マーク・トウェイン / 作 <sup>やしま たろう</sup> 八島 太郎 / 画  
大塚 勇三 / 訳 福音館書店 1975年

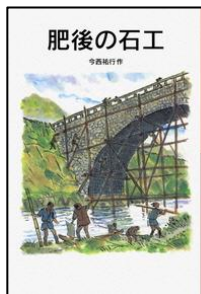
わんぱく少年のトムは、仕事や勉強をさぼって遊んでばかり。友達のハックやベッキーと共に、殺人事件に巻き込まれたり、洞窟で遭難したりする。アメリカ南部ミシシッピ川沿いの小さな村を舞台に、少年たちが繰り広げる冒険物語。



## 肥後の石工

いまいし すけゆき  
今西 祐行 作  
岩波書店 2001年

熊本の緑川に美しいアーチ型の<sup>れいたいきょう</sup>壺台橋が築かれたのは、さむらいの時代が終わりを告げようとしていたころ。その石橋づくりには、つらい過去と戦いながらも、命をかけてその技術を弟子たちに伝えた名職人・岩永三五郎の物語がかくされていた。



## ふたりのロツテ ケストナー少年文学全集6

エーリヒ・ケストナー / 作 <sup>たかほし 健二 やく</sup> 高橋 健二 / 訳  
岩波書店 1962年

夏休みの林間学校で出会ったロツテとルイーゼ。ふたりは髪型以外そっくりだった。自分たちがふたごの姉妹であることを知ったふたりは、別れた両親を仲直りさせようと考え、入れかわりを計画する。



## ライオンと魔女 ナルニア国ものがたり1

C・S・ルイス / 作 <sup>また ていじ やく</sup> 瀬田 貞二 / 訳  
岩波書店 1986年(初1966年)

戦争をさけるために田舎へあずけられた4人の兄妹は、古いダンスのむこうの不思議な国ナルニアに入りこんでしまう。恐ろしい白い魔女に支配された国を取りもどすため、真の王アスランとともに戦う4人の冒険物語。



まだまだおすすめ  
あります！

この本も読んでみよう

- 「ルドルフとイッパイアッテナ」<sup>さいとう ひろし</sup> 齊藤 洋 / 作 <sup>すぎうら はんも</sup> 杉浦 範茂 / 絵 講談社 1987年
- 「ギルガメシュ王ものがたり」<sup>ルドミラ・ゼーマン</sup> / 文・絵 <sup>まつの まさこ やく</sup> 松野 正子 / 訳 岩波書店 1993年
- 「銀河鉄道の夜」<sup>みやざわ けんじ</sup> 宮沢 賢治 / 作 岩波書店 1963年
- 「だまされたトッケビ」<sup>チョン スンガク</sup> / 絵 <sup>かみや にじ へん やく</sup> 神谷 丹治 / 編・訳 福音館書店 1999年
- 「長い長いお医者さんの話」<sup>K・チャベック</sup> / 作 <sup>なかの よしお やく</sup> 中野 好夫 / 訳 岩波書店 1952年
- 「マチルダはちいさな大天才」<sup>ロアルド・ダール</sup> / 作 <sup>クエンティン・ブレイク</sup> / 絵 <sup>みやした みねお やく</sup> 宮下 嶺夫 / 訳 <sup>ひょうろんしや</sup> 評論社 1991年

### 千葉市図書館

中央図書館	043-287-3980	若葉図書館	043-237-9361
みやこ図書館	043-233-8333	緑図書館	043-293-5080
花見川図書館	043-250-2851	美浜図書館	043-277-3003
稲毛図書館	043-254-1845		

その他、分館・公民館図書室の情報や、各館の詳しい情報はホームページをご覧ください。

千葉市図書館 検索

